



# ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2023年10月

# 販促・魅力発信

- ALPS処理水に関する風評を抑制・払拭することに加え、三陸・常磐地域の水産業等の本格的な復興や持続的な発展を後押しするため、経済産業省、復興庁、農林水産省にて、2022年12月20日に「**魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク**」を立ち上げ（10月時点で、**1,000者を超える企業、自治体等**が参加）。
- 2023年7月15日（土）から9月30日（土）**までを、「**三陸・常磐ウィークス（第2弾）**」と称し、ネットワーク参加企業等による社食・お弁当の購入等を通じ、「**三陸・常磐もの**」を**約50万食**が提供された。

## 三陸・常磐ウィークス（第2弾）の様子

### イベント



- **豊洲で「ごひいき！三陸常磐キャンペーン」in 豊洲を開催**
  - 三陸常磐エリアの豊潤な海の幸を多くの方に知っていただき、味わっていただくためのイベント。三陸常磐海産物を販売するブース出店や飲食店コラボ、抽選会などを実施。
- **名古屋城夏まつりで「福島グルメブース」を出店**
  - 三陸常磐海産物を販売するブース出店や飲食店コラボ、抽選会などを実施。

経済産業省 中部経済産業局  
@METI\_chb

開催報告！

#名古屋城夏まつりの #福島グルメ ブースへお立ち寄りありがとうございます！  
今後とも福島県の復興支援の取組を行ってまいります！

イベントの様子はこちら👉キビタンも登場しました！



### 弁当、社食、キッチンカー等

- 「三陸・常磐ウィークス（第2弾）」において、ネットワーク参加企業等での**弁当、社食、キッチンカー等**を通じて**約50万食**の「三陸・常磐もの」を提供。
- 事務局のサポートの下で、企業等による「三陸・常磐もの」の積極的な消費を後押し。



社食で三陸・常磐ものを導入した企業の例



岸田総理と西村経産大臣も食べて応援

- 三陸常磐エリアの豊潤な海の幸を多くの方に知っていただき、味わっていただくための施策として「**ごひいき！三陸常磐キャンペーン**」を**2022年10月1日より実施**。
- 2023年10月には、**サンプラザ（大阪府）、カスミ（茨城県、千葉県、埼玉県）、丸久（山口県）**といった全国のスーパーマーケットにおいて、**三陸常磐海産物の販促キャンペーンが実施された**。

## イベントの様子



サンプラザ（大阪府）



カスミ（茨城県、千葉県、埼玉県）



丸久（山口県）

- 2023年10月21日、石巻市の「いしのまき元気市場」において、**西村経済産業大臣が宮城県漁協寺沢組合長、齋藤石巻市長と宮城県産ホタテ、ホヤを試食し、その美味しさをPR。**
- その後の昼食会では、石巻で水揚げされたばかりの新鮮な魚介類が並ぶ「石巻元気御膳」を頂きながら、**寺沢組合長はじめとする宮城県漁協の方々、齋藤市長と意見交換**を行った。

宮城県産のホタテ・ホヤをPR



昼食会の様子



- 三陸が誇る食材である「牡蠣」の更なる消費拡大を図るため、「宮城県産 岩手県産 牡蠣フェア」を本年11月1日～12月31日の期間で開催予定。
- 宮城県・岩手県の「三陸牡蠣」の特徴を理解し、その特性にあったメニューを店舗オリジナルで提供。
- 本フェア開催に向け、2023年10月には、飲食店を対象とした産地ツアーを実施。飲食店が生産者とつながることで、より深い理解と共感を消費者と共有することが可能。
- 2024年2月頃には、「わかめフェア」も実施予定。

## 産地ツアーの様様



- 宮城県において、漁業者団体及び県庁と連携し、**小中学生を対象に宮城県産水産物を使った親子料理教室を開催。**
- 調理・試食を通じて宮城県産水産物の魅力を伝えるとともに、保護者には「魚の栄養と健康」について、子どもには「お魚クイズ」を通じ魚について学ぶ機会を提供し、**若年層にも水産業や海産物を身近に感じていただく取組。**
- 2023年10月14日には第7回親子料理教室を開催。計8組の親子が参加し、帆立貝のチャウダー、銀鮭の中華餡かけ、牡蠣の五目炊き込みご飯をつくって味わった。
- 2024年2月まで月に2回のペースで、「お子様も美味しく食べられる」をテーマに、ご家庭でも手軽に実践できるレシピをお子様と一緒に楽しめる料理教室として開催予定。

## 第7回「親子で参加♪宮城の海を味わう！料理教室」の様様



調理風景



帆立貝のチャウダー



銀鮭の中華餡かけ



牡蠣の五目炊き込みご飯

- トренд・おでかけ情報サイト「ウォーカープラス」において、**宮城県の沿岸地域等の魅力を発信。**
- 宮城県で楽しめるグルメやレジャー等を盛り込んだ旅行プラン（1泊2日）を紹介。

## ウォーカープラスでの発信

### 1泊2日でめぐる宮城の旅！地物の新鮮魚介や日本三景の松島などを編集部員がレポート PR

© 2023年10月26日

東京ウォーカー（全国版） 宮城県のニュース 体験レポ



Twitterで  
シェア



Facebookで  
シェア

これから紅葉シーズンが始まる東北。東京駅から仙台駅までは新幹線で約1時間半と聞けば、意外と近く感じるのではないだろうか？レンタカーを借りれば、現地での移動もラクラクだ。

そこで、新鮮なグルメや名所など、楽しみが詰まった宮城での1泊2日旅行プランを提案。美しい景色を堪能できる海沿いエリアを中心に、編集部スタッフが全力で宮城の魅力を体験してきた！



宮城の魅力をウォーカープラス編集部が解説！秋のおでかけに最適なスポットを徹底紹介



- 福島相双復興推進機構では、福島県産品の販路拡大に向けて、「6次産業化等へ向けた事業者間マッチング等支援事業」において企業間取引拡大に向けたマッチング支援や小売り・イベント等による販売促進支援を行っている。
- 同事業において**水産加工事業者と流通事業者のマッチング支援を行い、9月に6件の成約があった。**
- 引き続き、こうした支援を通じて福島県産品の販路拡大を進める。

## 販路開拓支援成果（事例）

- 岩下商店の「ミニさつま揚げ（カニ入り）」と海神の「しまほっけ開き」「めひかり唐揚げ」が、地元のいわき市で定食・弁当を提供する事業者と成約。
- 9月より「特大しまほっけ弁当」として販売開始。（めひかりを使った「おむすび弁当めひかり唐揚げ入り」は3月より販売）
- これらはいわき市内の店舗に加え、国会議事堂内の売店（衆議院第一別館地下）でも販売されている。



特大しまほっけ弁当  
（しまほっけ（右上）・ミニさつま揚げ（カニ入り）（左上）使用）



おむすび弁当めひかり唐揚げ入り  
（めひかり 使用）

- 9月26日～10月9日の14日間、そごう横浜店の神奈川県アンテナショップ「かながわ屋」に、「福島フェア」として福島県の水産加工品を出品。
- 本イベントでは、福島県漁連を含む福島県の水産加工業者等9社が28商品を販売。開催期間中は、毎日多くのお客様が来場。商品はほぼ完売した。
- 開催期間中の10月3日には、神奈川県黒岩知事にもご来場いただき、福島県の水産物をPRいただいた。

## 福島フェア in かながわ屋



▲黒岩知事（右から3人目）



▲黒岩知事によるPR



■黒岩知事からは「おいしいのでぜひ召し上がってほしい。」「福島ของ皆さんは大変つらい思いをされている。科学的にも安全性がきちんと証明されている水産物を応援したい気持ちだ。こうした取組を継続してやっていきたい」とのお言葉をいただいた。

■お客様からは「商品を目一杯買うことでしか応援できないけど頑張ってほしい」「今回の福島への扱いが悔しくて、ニュースを見て応援するために遠方から来た。」といった、応援する声が多く寄せられた。

- 10月11日～17日の7日間、松坂屋上野店で開催された水産加工品の販売会「ふくしまフェア」に、福島相双復興推進機構の主催で、「常磐大漁市」を出店。
- 本イベントでは、福島県漁連を含む福島県の水産加工業者等12社が40商品を販売。また、14・15日には福島県漁連の「メカリ唐揚げ」、カネセン水産の「味付タコ」の試食を実施。試食いただいた方にはアンケートにご協力いただいた。
- 11月にも埼玉県内、大阪府内にて催事出店を予定。

## 常磐大漁市 ふくしまフェアin松坂屋上野店



▲試食の様子



▲「ふくしまフェア」ガラポン

- アンケートでは「この太さのメカリはなかなかない」「タコの味がしっかりしておいしい」などの声をいただいた。
- お客様からは「福島の商品は見かけたら応援の為、買うようにしている。」「9月の上野駅でのイベントでも買った。また出会えてうれしい。頑張っ  
てね!」といった、応援する声が多く寄せられた。



- 10月1日に、東京電力及び在英英国福島県人会、現地飲食店らの協力のもと、ロンドン市民を対象に、日本の文化・ビジネス等の情報発信を行うイベント「**Japan Matsuri**」において、**北海道産ホタテの試食サンプルの提供を行うイベントを実施。**
- 当日は、ジェレミー・ハント英国財務相をはじめ、来賓者含め、**北海道産ホタテのバター醤油焼きを約1,000名に提供。**
- 試食した来賓者からは「日本のホタテを初めて食べたが甘みがあって、おいしい。塩味を利かせることが多い英国産と違いがある」と日本のホタテが高く評価されると共に、一般消費者からも「日本の水産物を食べるのは初めてだがもっと食べたい。購入出来る場所を教えてください」などのコメントが寄せられ、**日本産水産物のイメージアップに寄与**した。

## Japan Matsuriでのイベントの様子

▼ホタテを試食する来賓のハント英財務相



▼提供したホタテのバター醤油焼き



▼試食を求める一般消費者



- 10月7日～11日にドイツ・ケルンで開催された世界最大規模の**食品総合見本市 ANUGA 2023 にジャパンパビリオンを設置。北海道からの3社・団体を含む計64社・団体が出品**し、来場バイヤーとの商談を支援した。
- 会期初日には本年8月のEU輸入規制全廃を契機とした輸出販路拡大を目的に、欧州バイヤーやレストラン関係者、プレス関係者等を対象に高品質な日本産水産物等のプロモーションを目的に「Japan Night」を開催。

## ANUGA 2023 出展概要

### <見本市概要>

- ・会期：2023年10月7日（土）～11日（水）
- ・会場：ドイツ・ケルン
- ・主催者：ケルンメッセ
- ・出展者数：7,850社（118カ国・地域）
- ・来場者数：約14万人（200カ国・地域）

### <ジャパンパビリオン出展概要>

- ・出展者数：64社・団体（北海道企業含む）

## 「Japan Night」にて水産品等をPR

- ・開催日：2023年10月7日（土）
- ・会場：ドイツ・ケルン ケルンメッセ内
- ・概要：  
現地バイヤーやレストラン関係者、インフルエンサー、事業者、プレス関係者などが約200名参加。  
イベントでは、現地レストランのドイツ人シェフが北海道産ホタテを用いて一品料理を提供。また、愛媛県・大分県産のふりをういた寿司や福島県・宮城県で製造の日本酒を提供。  
北海道の鈴木直道知事もビデオメッセージを寄せ北海道産ホタテをアピール。



- **カナダ（トロント、モントリオール）における日本酒PRイベント開催に合わせ水産物のPRを実施。**
- 「Kampai Toronto」（オンタリオ日本酒協会主催のカナダ最大日本酒PRイベント）、「Kampai Montreal」（ケベック日本酒協会（Association Sake Quebec）が開催するケベック最大の日本酒のPRイベント）において、**日本産水産物（ホタテ（北海道産）、カンパチ、ハマチ（愛媛産）等）のプロモーション用ブースを設置し、日本酒と一緒に試食を提供。**
- メディア・レストランシェフなどを対象としたB to B向けセッションでは、インフルエンサーも多数来場。

## 「Kampai Toronto」、 「Kampai Montreal」 における水産物PRイベント概要

### 「Kampai Toronto」概要

開催日：2023年9月30日（土）

会場：カナダ・トロント 日系文化会館（Japanese Canadian Cultural Centre）

### 「Kampai Montreal」概要

開催日：2023年10月5日（木）

会場：カナダ・モントリオール ボンスクールマーケット（Bonsecours Market）

### 参加者の主なコメント

- 日本の美味しい魚介類が味わえるなんて感激。
- ホタテ珍味は日本酒と抜群に合う、これは何という食べ物でどこで購入できるのか？
- 冷凍とは思えないほどフレッシュだ。スタミナホタテは日本酒にもワインにも合いそうで気に入った。
- 北海道産のホタテと聞いて、産地を旅行したくなった。他にも美味しい海産物や素晴らしい景色があると聞いている。
- どこで購入できるのか、ECサイトを教えてほしい。



会場写真



- 10月19日～20日に、**カナダ最大の利用客を誇るトロントのユニオン駅**で、一般消費者向けに、試食サンプルの提供及び現地で日本産水産品の購入可能なECサイトを案内し、**日本産水産物のプロモーションと販売拡大のためのイベントを実施**。
- 試食サンプルは、北海道産ホタテの炊き込みご飯やラトウイユ、福島県産マグロの巻き寿司ら3種類を準備し、2日間で計**10,000食を超えるサンプル**を提供。
- 試食したカナダ人からは、「今まで食べた中で一番美味しいホタテだ。日本産はよいイメージを持っているが、今日食べてみてやはり美味しいと感じた。」、「炊き込みご飯は旨味とホタテの味が感じられる絶妙な味付けだ。ユニークな味で気に入った」、「ホタテと日本食という寿司をすぐに想像するが、炊き込みご飯やラトウイユといった食べ方は考えたことが無かった。他の調理方法も学びたい」などのコメントが寄せられ、**日本産水産物のイメージアップに寄与**した。

## ユニオン駅でのイベントの様子

▼ホタテの炊き込みご飯



▼ホタテのラトウイユ



▼試食を求める一般消費者



- 中小機構の中小企業大学校（東京校）の食堂において、140食限定で**三陸・常磐もの食材を使った特別企画メニューを提供した**。また、三陸・常磐もの説明用POPや観光パンフレットを食堂やロビーなど大学校内に広く設置し、周知活動を実施した。
- 中小機構において、**三陸・常磐ものネットワーク弁当を購入し、ランチ会を開催し、「三陸・常磐もの」の消費拡大を実施**。

## 9/27 中小企業大学校（東京校）食堂にて消費拡大の取組

### ◆企画概要

- ・開催日時：2023年9月27日（水）昼食
- ・中小機構は、三陸・常磐ものネットワーク参画メンバーである「株式会社ニッコトラスト」様と協力し「三陸産さんま蒲焼き丼」の提供、三陸の自治体のパンフレットの配布などを行うイベントを実施
- 東京校では、第1回の開催（8/3）に続き2回目の開催となった。

株式会社ニッコトラスト  
<https://www.nikkokustrust.com/corporate/outline.html>



▲特別メニュー



◀食堂の様子



▲パンフコーナー



◀SNS発信

## 10/16 消費拡大

### ◆企画概要

- ・開催日時：2023年10月16日（水）昼食
- ・中小機構は、若手の有志職員が主催し、総員30名で、昼休み時間を利用し、三陸常磐お弁当食事を実施



▲ランチ会の様子



▲お弁当



▲ランチ会の様子



◀SNS発信

- 東京電力が福島県産品の美味しさや魅力を伝えるために実施している「発見！ふくしま」の取り組みの一環として、11月23日～26日、お台場で「**SAKANA & JAPAN FESTIVAL 2023**」と連携し、福島県産「常磐もの」をはじめとした県産水産物の**PR イベントを開催**。また、今回は「北海道・三陸」エリアを併設し、ホタテなど国産水産物を販売する。
- 11月18日～19日、**二子玉川ライズ ガレリア**で**福島県産の新米PRイベントを開催**する。福島県産「新米」の販売のほか、キッチンカーによる福島県産食材を使用したメニューの提供やステージイベントも開催する。

## 発見！ふくしまお魚まつり in お台場

- 日程：11月23日（木・祝）～11月26日（日）
- 場所：お台場（東京都江東区）



▲会場の様子（2022年）

## 発見！ふくしまキャンペーン in 二子玉川ライズガレリア

- 日程：11月18日（土）、11月19日（日）
- 場所：二子玉川ライズ ガレリア（東京都世田谷区）

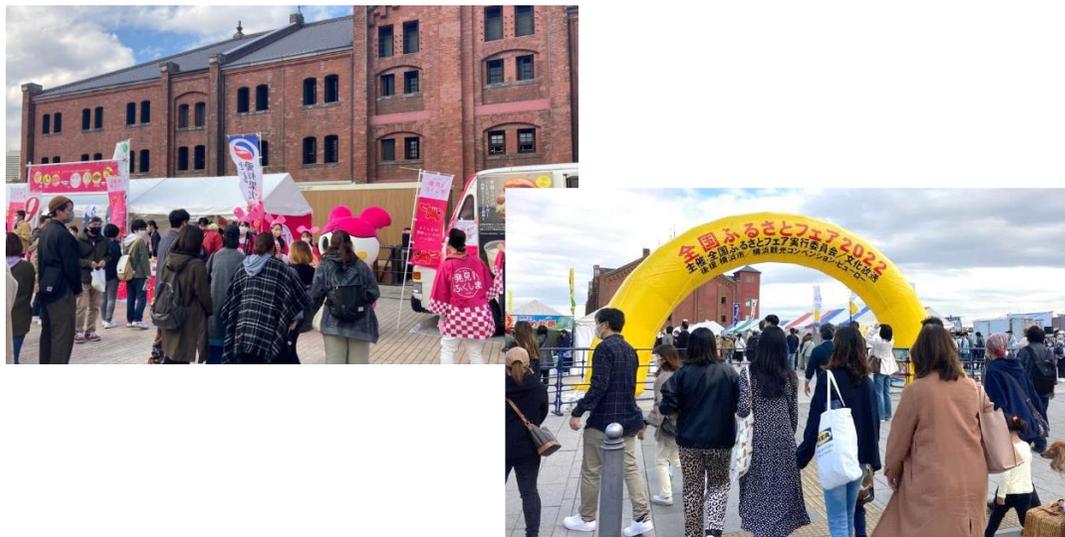


▲会場の様子（2022年）

- 11月3日～5日、横浜赤レンガ倉庫で開催される「**全国ふるさとフェア 2023**」で**キッチンカーを出店し、福島県産食材を使ったメニューの提供やマルシェを開催**する。キッチンカーでは常磐もののメカリの唐揚げや福島牛の串焼きなどを提供し、マルシェでは福島県産「天のつぶ」の新米などを販売する。
- 11月1日～12月17日、**福島県産品ECサイト「ふくしま市場」と販売促進キャンペーンを開催**する。期間中、ふくしま市場の商品が最大30%OFFで購入可能。ふくしま市場LINEの友だち追加やメルマガ登録された方の中から抽選で300名にプレゼントも用意する。

## 全国ふるさとフェア2023

- 日程：11月3日（金・祝）～11月5日（日）
- 場所：横浜赤レンガ倉庫 神奈川県横浜市



▲会場の様子（2022年）

## ECサイトキャンペーン ～贈ろう 食べよう ふくしま秋の恵み2023～

- 開催期間：11月1日（水）～12月17日（日）



▲チラシ



▲ECサイトページ  
11/1午前11時開設予定

- 10月3日～5日の3日間、台東区のおかちまちパンダ広場で「**ホタテ祭り in おかちまちパンダ広場**」を緊急開催し、**北海道・宮城県産ホタテの鉄板焼きやキッチンカーにおける福島県産品とのコラボメニューを約7,300食販売した。**
- 10月11日～13日の4日間、サンテック・シンガポール国際会議展示場で開催された「**Food Japan 2023**」に「**発見！ 福島**」ブースを出展し、「**天のつぶ**」パックライスの試食を約400食提供をした。
- 福島県営あづま総合運動公園で開催された「**LIVE AZUMA 2023**」で「**発見！ 福島**」7ブースを出店し、福島県産「**常磐もの**」などを使ったオリジナルメニューを約5,300食販売した。

## ホタテ祭り in おかちまちパンダ広場

## シンガポール「Food Japan 2023」

## LIVE AZUMA 2023 in あづま総合運動公園



▲会場の様子



▲鉄板焼き

▲ふくしまキッチンカー

# 理解釀成

- 2023年10月に開催された福島県内の各種イベントにおいて、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉やALPS処理水に関するブースを出展。**来場者の方々に福島第一原子力発電所のジオラマを用いて説明をするるとともに、パンフレット等の配布を行った。**

ふたばワールド2023inおおくま(10/7)  
の様子



LIVE AZUMA2023(10/14-15)  
の様子

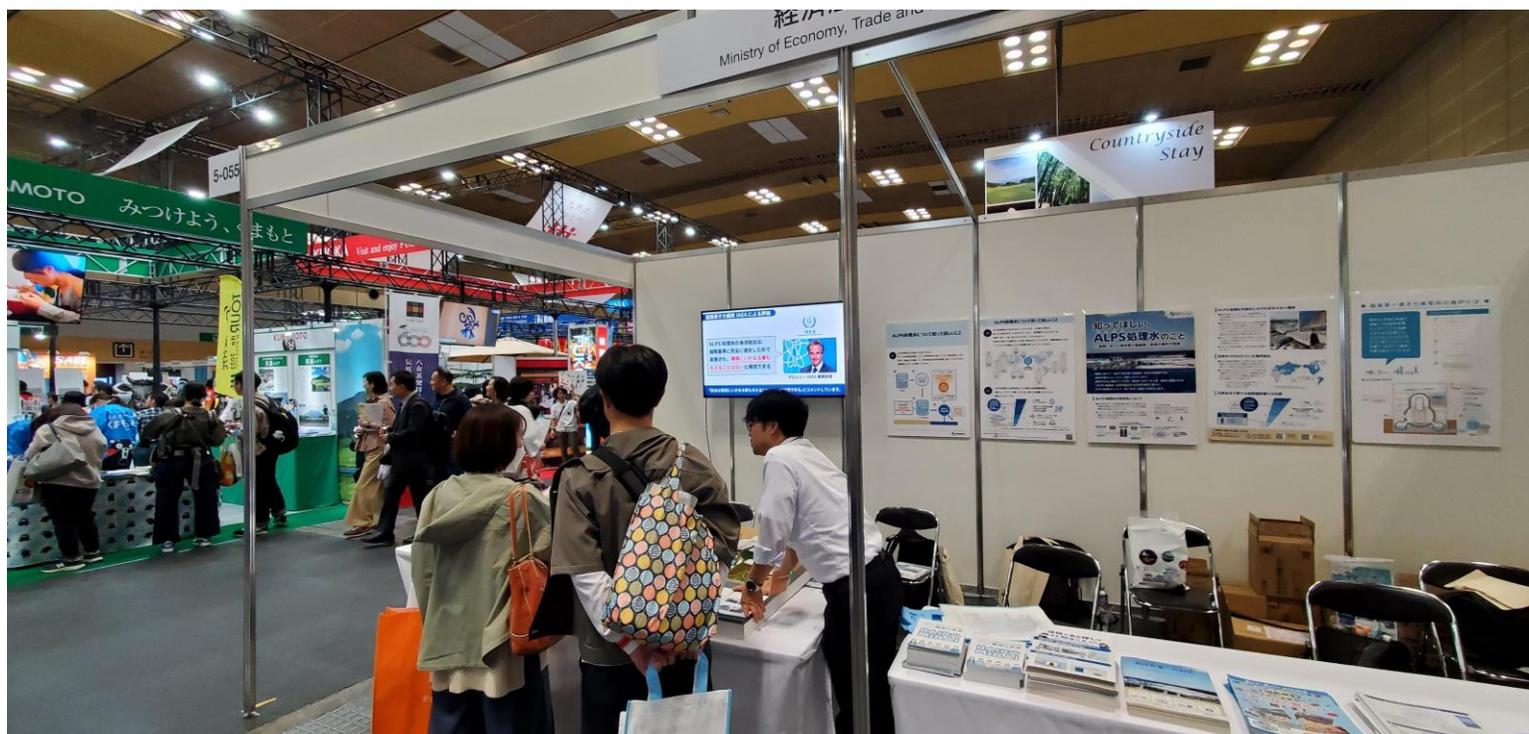


標葉祭り(10/21-22)  
の様子



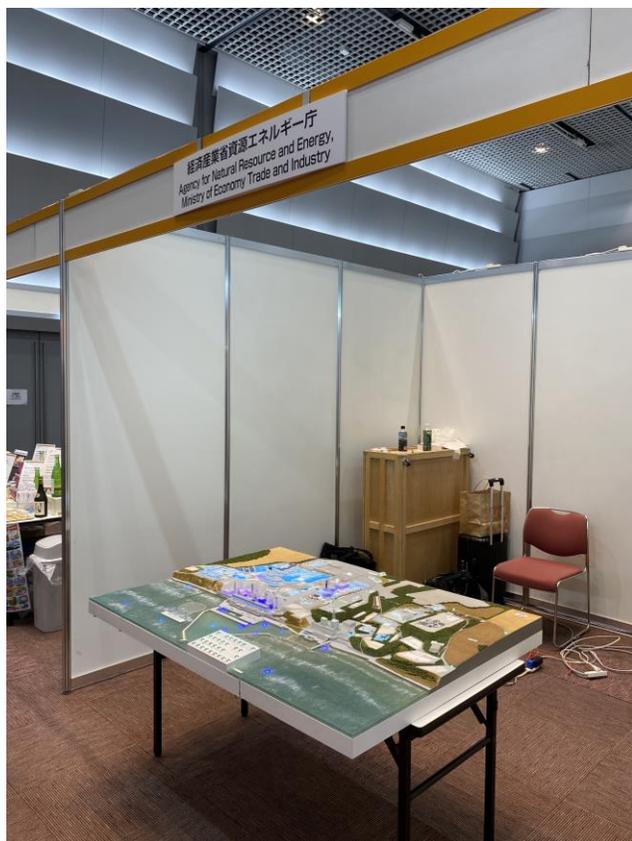
- 2023年10月26日～29日にインテックス大阪で開催された「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」において、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉やALPS処理水に関するブースを出展。**来場者の方々に福島第一原子力発電所のジオラマを用いて説明をするとともに、パンフレット等の配布を行った。**

## ツーリズムEXPO（10/26-29）の様子



- 2023年10月28日～29日に開催された「G7大阪・堺貿易大臣会合」において、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉やALPS処理水に関するブースを出展。**国内外のメディアや政府関係者の方々に福島第一原子力発電所のジオラマを用いて説明を行った。**

## G7大阪・堺貿易大臣会合（10/28-29）の様子



- **ALPS処理水に係るモニタリングの結果を一目でわかるマーク形式で表示**するページについて、**Yahoo!JAPANのトップページにバナー広告を掲載。**

## ALPS処理水に係るモニタリングページ（抜粋）

日本語 | English

安全対策・風評対策の取組 > 関連コンテンツ >

### ALPS処理水に係るモニタリング

ALPS処理水は、放出前に、含まれる放射性物質の濃度測定を行い、安全基準を下回っていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出が行われることから、近傍に生息する魚などの食品の安全上の問題は生じません。さらに、放出前後で、海水、魚類、海藻類のモニタリングを強化して実施し、状況を確認していきます。

#### ALPS処理水の分析結果

**放出完了した水 ※**

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、  
いずれも基準を満たしていることを確認しました

※6月26日に採取を行ったALPS処理水（K4-Cタンク）  
※基準：トリチウム以外の告示濃度比総和1未満

**次回放出予定の水 ※**

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、  
いずれも基準を満たしていることを確認しました

※7月10日に採取を行ったALPS処理水（K4-Aタンク）  
※基準：トリチウム以外の告示濃度比総和1未満

#### 東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果（海水・魚に含まれるトリチウム）

**現在の状態 ※**

異常なし

※最新の各機関での分析結果をもとにしています

**凡例**

- 異常なし：「放出停止判断レベル」（設備の運用状況等の確認が必要な指標）を超えていないときに表示
- ! 「放出停止判断レベル」を超えたときに表示

※「放出停止判断レベル」は、「放水口付近で700Bq/L」「放水口付近の外側10km四方内で30Bq/L」と定めています。  
これらを超えた場合でも、周辺海域のトリチウム濃度は安全基準60,000 Bq/LやWHO飲料水基準10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態です。

## Yahoo!JAPAN バナー広告

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと

周辺の  
海の状況は  
どうなっているの？

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと

海水や魚は  
大丈夫なの？

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

ページはこちら

Copyright Ministry of Economy, Trade and Industry. All Rights Reserved.

- 本年5月に公開した、「ALPS 処理水について知ってほしい5つのこと」をそれぞれ1分程度でわかりやすく解説する動画について動画広告を展開。（動画はそれぞれ画像左下の2次元コードからご覧いただけます。）

## 1分程度でわかりやすく解説する動画

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
ALPS 処理水って何？  
本当に安全なの？



① ALPS処理水って何？  
本当に安全なの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
トリチウムって何？



② トリチウムって何？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
なぜALPS処理水を  
処分しなければならないの？



③ なぜALPS処理水を  
処分しなければならないの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
本当に海洋放出をしても  
大丈夫なの？



④ 本当に海洋放出をしても  
大丈夫なの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



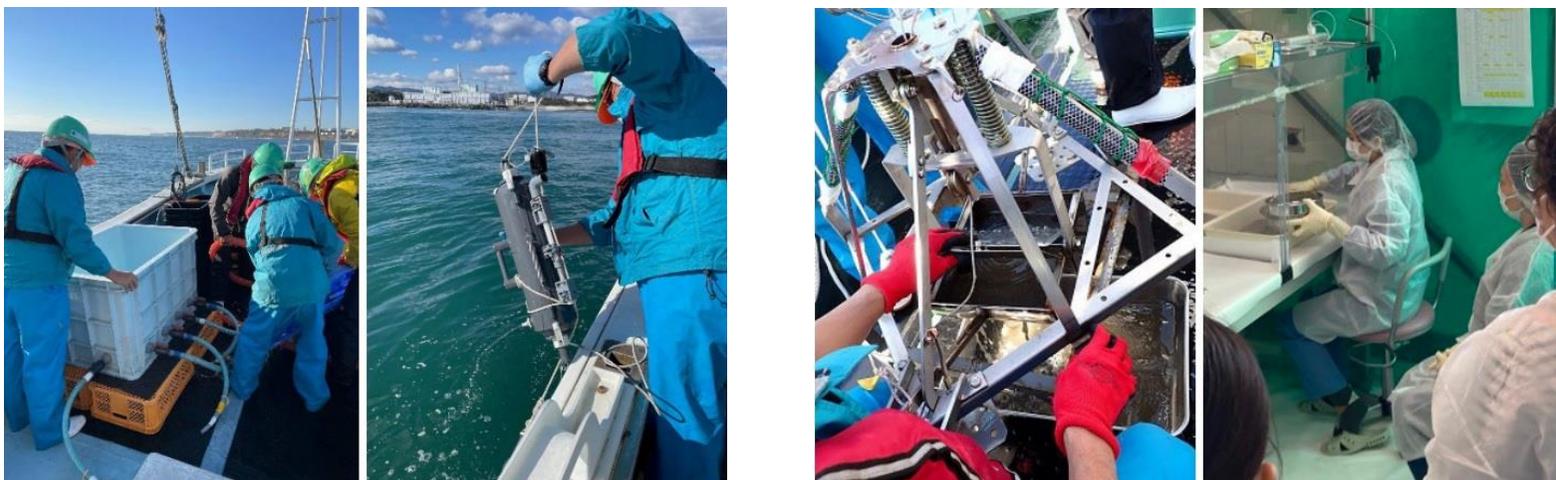
**動画で解説**  
近海でとれた魚は  
大丈夫なの？



⑤ 近海でとれた魚は  
大丈夫なの？

- 2023年10月13日、第16回日中海洋政策協議（日中高級事務レベル海洋協議）が中国江蘇省揚州市で開催された。
- 同協議には、日本側から、当省のほかに外務省、水産庁、海上保安庁、環境省及び防衛省が参加し、中国側から、外交部、中央外事工作委員会弁公室が参加した。
- 日中双方は、全体会議のほか、（１）海上法執行及び海上安全、（２）海上防衛、（３）海洋経済の３つのワーキンググループに分かれて会議を行い、海洋分野における協力の在り方等について議論した。
- 日本側からは、**福島第一原子力発電所のALPS処理水の海洋放出について我が国の立場を改めて明確に述べるとともに、科学的根拠に基づかない中国側の措置は全く受け入れられないとして、中国側による日本産水産物の全面的な一時輸入停止措置を含む日本産食品の輸入規制措置の早期撤廃を改めて強く求めた。**

- 2023年10月16日から23日まで、**ALPS処理水に係る海域モニタリングの裏付けを目的として実施。**
- 本事業は、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉について、2013年度にIAEAがとりまとめた報告書に記載された海洋モニタリングに関する助言のフォローアップとして実施しているプロジェクトの一環として実施。
- IAEA海洋環境研究所の専門家に加え、IAEAから指名された**カナダ、中国及び韓国**の**分析機関の専門家が参加。**
- 日本の海域モニタリングの信頼性および透明性を確保すべく、**IAEA海洋環境研究所の海洋モニタリングの専門家が、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所近傍における海水・海底土の採取、福島県での水産物の採取、及び採取した試料の前処理の確認**を行うもの。



▲IAEAの活動の様子

- 2023年10月19日、**岩田副大臣は、IAEA（国際原子力機関）のエヴラール事務次長と会談を行った。**
- 岩田副大臣からは、これまでのIAEAによるALPS処理水の安全性に関するレビューや独立したモニタリングの実施等について謝意を述べた。
- エヴラール事務次長からは、今後もIAEAとして、海洋放出の安全性の確保にしっかりと関与していくとともに、**ALPS処理水の海洋放出は、現状問題なく行われていて、順調に進められている旨の回答**があった。
- **両者は、今後も、長期にわたり、IAEAによるレビューと現地事務所によるモニタリング活動を継続するとともに、引き続き緊密に連携していくことを確認した。**



▲IAEAエヴラール事務次長（左）と岩田副大臣（右）

- 2023年10月24日から27日にかけて、**IAEA（国際原子力機関）の職員及び国際専門家からなるIAEAタスクフォースが来日し、東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出に関するレビュー**が行われた。
- グスタヴォ・カルーソ原子力安全・核セキュリティ局調整官を含む7名のIAEA職員と9名の国際専門家（アルゼンチン、英国、カナダ、韓国、中国、フランス、ベトナム、マーシャル諸島、ロシア）が日本を訪れ、**ALPS処理水の海洋放出に関するレビューミッションが行われ、ALPS処理水の海洋放出の安全性について、IAEA国際安全基準に基づいて、技術的事項を議論**した。
- 日本側から海洋放出開始後の**モニタリングの状況、また、放出設備等の状況について説明**を行い、意見交換を実施した。
- また、**IAEA職員及び国際専門家は、東京電力福島第一原子力発電所を訪問し、ALPS処理水の海洋放出の状況や設備の状況の現地確認**を行った。



▲レビューミッションの様子



▲IAEAタスクフォースの福島第一原発の視察

- 10月28、29日に開催された**G7大阪・堺貿易大臣会合の閣僚声明**において、**ALPS処理水の海洋放出後に新たに導入された日本産食品への輸入規制撤廃を呼びかける文言**が盛り込まれた。
- 会合等では、**一部国・地域が講じている輸入規制措置は、科学的根拠に基づかず、全く受け入れられないという日本の考え方を明確に伝え、G7各国から幅広く支持を得た。**

## G7大阪・堺貿易大臣会合閣僚声明（関連部分抜粋：仮訳）

### 結語

我々は、食品輸入規制が科学に基づき、W T O 及びその他の国際ルールに従ってのみ適用されることの重要性を改めて表明し、確認する。この観点から、G 7 メンバーは、新たに導入された日本の食品への輸入規制を含め、不必要に貿易を制限するいかなる措置も直ちに撤廃されることを強く求める。（略）



- **様々な機会・あらゆるレベル**で、ALPS処理水の海洋放出に関する**発信**や**働きかけ**を実施。

## 1. 第5回日豪経済閣僚対話（西村大臣）

- ✓ 2023年10月8日（日）、**西村大臣は、豪州を訪問し、第5回日豪経済閣僚対話に出席した。**
- ✓ 西村大臣は、ドン・ファレル貿易・観光大臣とともに、共同議長を務めた。両大臣のほか、クリス・ポーエン気候 変動・エネルギー大臣、マデレーン・キング資源大臣兼北部豪州担当大臣が参加。
- ✓ 閣僚会議対話において、福島第一原子力発電所からの水の放出について議論し、**科学的根拠に基づいた対応の重要性と、放出の安全性を監視するIAEA（国際原子力機関）の役割を強調した。**
- ✓ また、**日本が透明性を確保し、国際社会を関与させようと努めたことを高く評価し、これが継続されることを期待した。**

## 2. 日デンマーク共同声明

- ✓ 2023年10月25日（水）、**岸田総理は訪日中のメッテ・フレデリクセン・デンマーク王国首相と会談を行い、日・デンマーク戦略的パートナーシップの深化に関する首脳共同声明を発出した。**
- ✓ **岸田総理から、ALPS処理水の海洋放出について、今後とも、高い透明性を持って、国際社会の理解を一層深める努力を不断に続けていくことを説明するとともに、デンマークとも緊密に連携していきたい旨を述べ、フレデリクセン首相は、日本の透明性の高い取組を評価する旨述べた。**



# 安全確保

## 東京電力

- 海水中トリチウムを測定。
- 放出後当面の間、発電所から3 km以内の10地点で毎日、迅速分析を実施。

## 水産庁

- 水産物は年約380検体でトリチウムを測定。
- 放出後当面の間、①放水口の北北東へ約4 km、②放水口の南南東へ約5 kmの2地点で、迅速分析を実施。

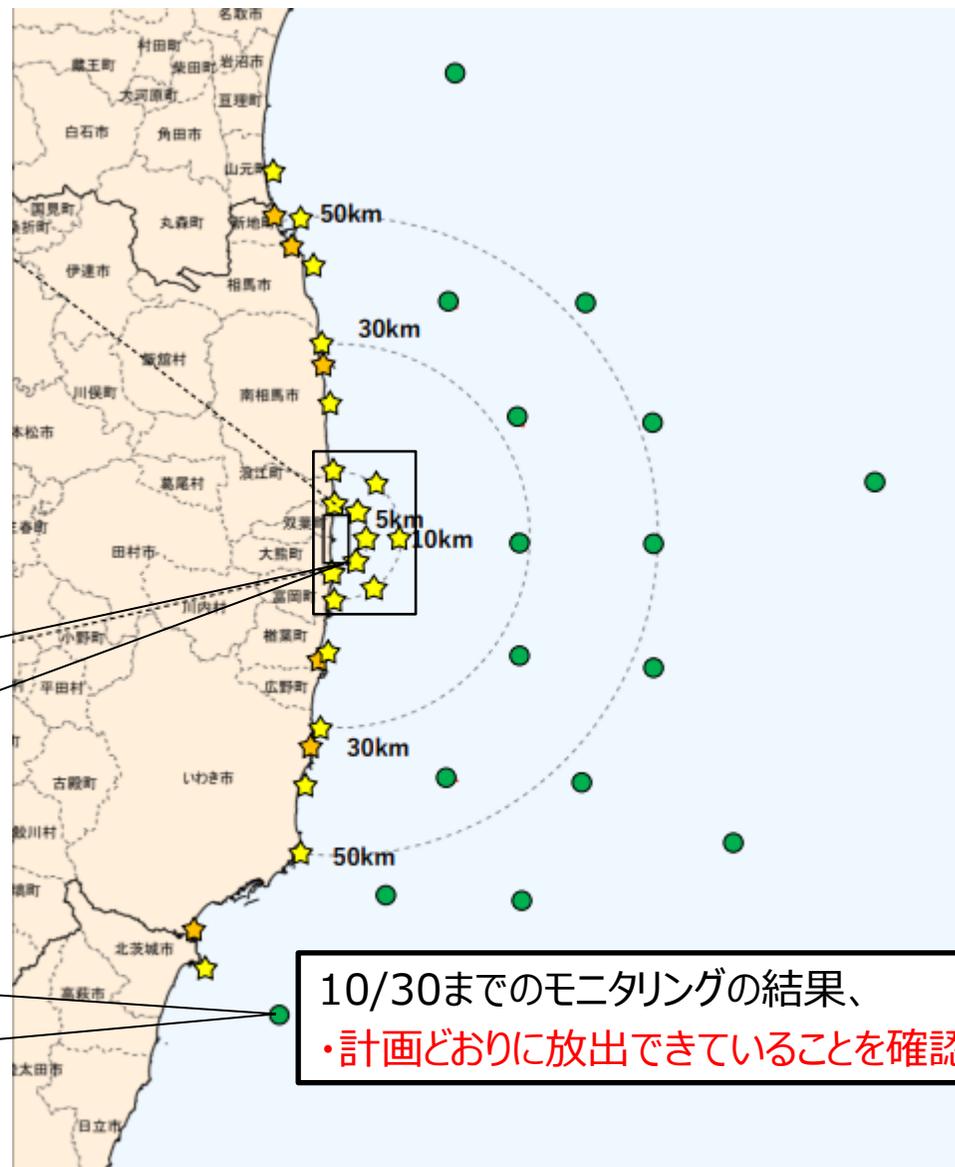
## 環境省

- 海水中トリチウムを測定。
- 放出後当面の間、11地点で週1回迅速分析を実施。  
(海水浴場においても海水中トリチウムを測定) ★

## 原子力規制庁

- 海水中トリチウムを精密分析にて測定。
- 20km以上離れた海域や、宮城県沖南部、茨城県沖北部でも、精密分析を実施。 ●

【広域図】



- 昨年8月から、東京電力が、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の取組について、**定期的に地元紙（福島民報、福島民友、河北新報、岩手日報、茨城新聞）に広告を掲載。**
- 本年10月も2回掲載しており、今後も**月1～2回の頻度で継続的に実施を予定。**

## 新聞への広告掲載内容（左上：モニタリング状況のお知らせ、右下：第30回）

広告

### 福島第一原子力発電所「周辺海域のモニタリング状況」のお知らせ (2023年10月)

東京電力ホールディングスは2022年4月から、発電所近傍や福島県沿岸の海域において、トリチウムを含む放射性物質の監視(モニタリング)を強化しています。

海域モニタリングにおけるトリチウム濃度は、運用上の指標(放出停止判断レベル:700ベクレル/L)を大きく下回る結果となっています。引き続き、ALPS処理水の海洋放出における安全性の確保に万全を期してまいります。

3km圏内(港湾内を除く) 20km圏内

採取地点(海水) 定期的に採水を採取し、放射性物質濃度を測定。

海域モニタリングの結果

当社が測定した海水や海産物の放射性物質濃度に、**有意な変動は確認されていません。**  
詳細は当社ホームページをご覧ください。  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/monitoring/>

#### 【参考】トリチウム濃度の比較

単位:ベクレル/L

項目	値
国の規制基準(排水口) <sup>※1</sup>	60,000
WHO(世界保健機関)飲料水水質ガイドライン	10,000
放出停止判断レベル <sup>※2</sup> (発電所から3km以内)	700
調査レベル <sup>※3</sup> (発電所から3km以内)	350
日本全国の海水 <sup>※4</sup> 過去の変動範囲	0.043

※1. 原子力発電の排水口から出る水を、毎日、その濃度を約21回測定した場合に一年間でトリチウム濃度が約10ベクレル程度とし、測定時間を短縮して濃度を推定する測定。  
※2. 放出停止を判断する際の指標。  
※3. 放出停止判断レベル。  
※4. 出典:日本の環境

#### 包括的・海域モニタリング観測システム(ORBS)

当社以外の各機関(環境省、水産庁、原子力規制委員会、福島県)が測定した海水および水産物の放射性物質濃度も**有意な変動は確認されていません。**  
詳細は各機関の分析結果を一元的に確認できるORBSをご覧ください。  
<https://www.monitororbs.jp/>

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー (福島県双葉郡大熊町大字沢字北原)

広告

### 福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.30 【ALPS処理水に関する情報発信②】

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「復興と廃炉の両立」に向けて、廃炉を安全かつ着実に進めてまいります。東京電力ホームページ内の「処理水ポータルサイト」では、ALPS処理水の海洋放出に関する様々なデータを発信しています。今回は、海洋放出前のALPS処理水を測定・評価する「測定・確認用設備」の状況について、ご覧いただける情報をお知らせします。

処理水ポータルサイト (ホームページ 観測データ)  
ALPS処理水 海洋放出の状況

ALPS処理水 海洋放出の状況

測定・確認用設備の状況

ALPS処理水の測定結果(2023年10月19日)  
⇒放出基準を満足していることを確認しています

※1. Bq(ベクレル)は、放射性物質がどのくらい放射線を出す能力があるかを表す単位 ※2. 各機関の濃度の法上の規制値に対する比を求め、それを合計したものが

測定・確認用設備の状況

タンク10基(合計容量約10,000m<sup>3</sup>)×3群をローテーションしながら運用しています。

測定・確認 放出終了 放出終了

トリチウム濃度 **13万Bq/L**  
100万Bq/L未満であることを確認しました。

トリチウム以外の放射性物質の濃度  
告示濃度比総和 **0.25** < 規制基準 1

当社委託外部機関(化研)の測定結果  
▶トリチウム濃度: 13万Bq/L  
▶トリチウム以外の放射性物質の告示濃度比総和: 0.31

▼よくいただく質問

- Q. 希釈前のALPS処理水のトリチウム濃度は?
- Q. トリチウム以外の放射性物質の濃度は、国の規制基準を満たしているの?
- Q. 東京電力以外の機関は、測定・確認しているの?

「測定・確認用設備」では、①当社、②当社が委託する外部機関、③政府の基本方針に基づく第三者(日本原子力研究開発機構)が、それぞれALPS処理水を放出前に分析し、国の規制基準を満たしているかを確認しています。また、その結果を公開しています。

ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください  
▶【処理水ポータルサイト】  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/>

測定・確認用設備に関する情報はこちらをご覧ください  
▶【測定・確認用設備の状況】  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/measure-ament-facility/>

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策  
▶【貴方のご意見をお聞かせください】  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/volvo.html>

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字沢字北原22